



平成26年5月1日着工

津市リサイクルセンター本体建設工事

平成26年4月15日

総合計画、環境基本計画、一般廃棄物処理基本計画における位置づけ

津市総合計画後期基本計画

- 1 美しい環境と共生するまちづくり
 - 1-1 循環型社会の形成
 - 第2項 廃棄物等の適正な処理
 - (2)ごみ処理施設等の整備推進
 - ②リサイクルセンターの建設推進



津市環境基本計画

- 第4章 目標達成に向けた施策の推進
 - II 施策の推進
 - 1 廃棄物の発生抑制・適正処理
 - イ ごみ処理施設の整備
 - ① ごみ処理施設の整備事業



津市一般廃棄物処理基本計画中間見直し（平成26年3月）

- 第1章 これまでの取組状況と課題
 - 4 ごみ処理計画から見た現状
 - (5)ごみ処理施設の整備



津市リサイクルセンター整備に至る経緯

平成23年度

基本設計、地質調査、地形測量

平成24年度

実施設計、生活環境影響調査、詳細地質調査、都市計画変更

平成25年6月

造成工事請負契約締結・建設工事請負契約締結

平成25年12月

建築確認申請

平成26年3月

一般廃棄物処理施設設置届

津市リサイクルセンター建設地



西部クリーンセンター

白銀環境清掃
センター

津市リサイクルセンター
建設地

津市片田田中町地内

津市リサイクルセンターの概要

総事業費

約48億円

財源内訳

循環型社会形成推進交付金(環境省)
合併特例債
一般財源

約14億円
約27億円
約7億円

建設地 総面積

約100,000m²

造成面積 約40,000m²
自然区域ゾーン 約60,000m²

施設規模

処理能力 89トン／日

附帯設備 8トン／日を含む

- ・可燃性粗大ごみ切断機 5トン／日
- ・廃蛍光管処理設備等 3トン／日

津市リサイクルセンター整備予定施設



車庫棟

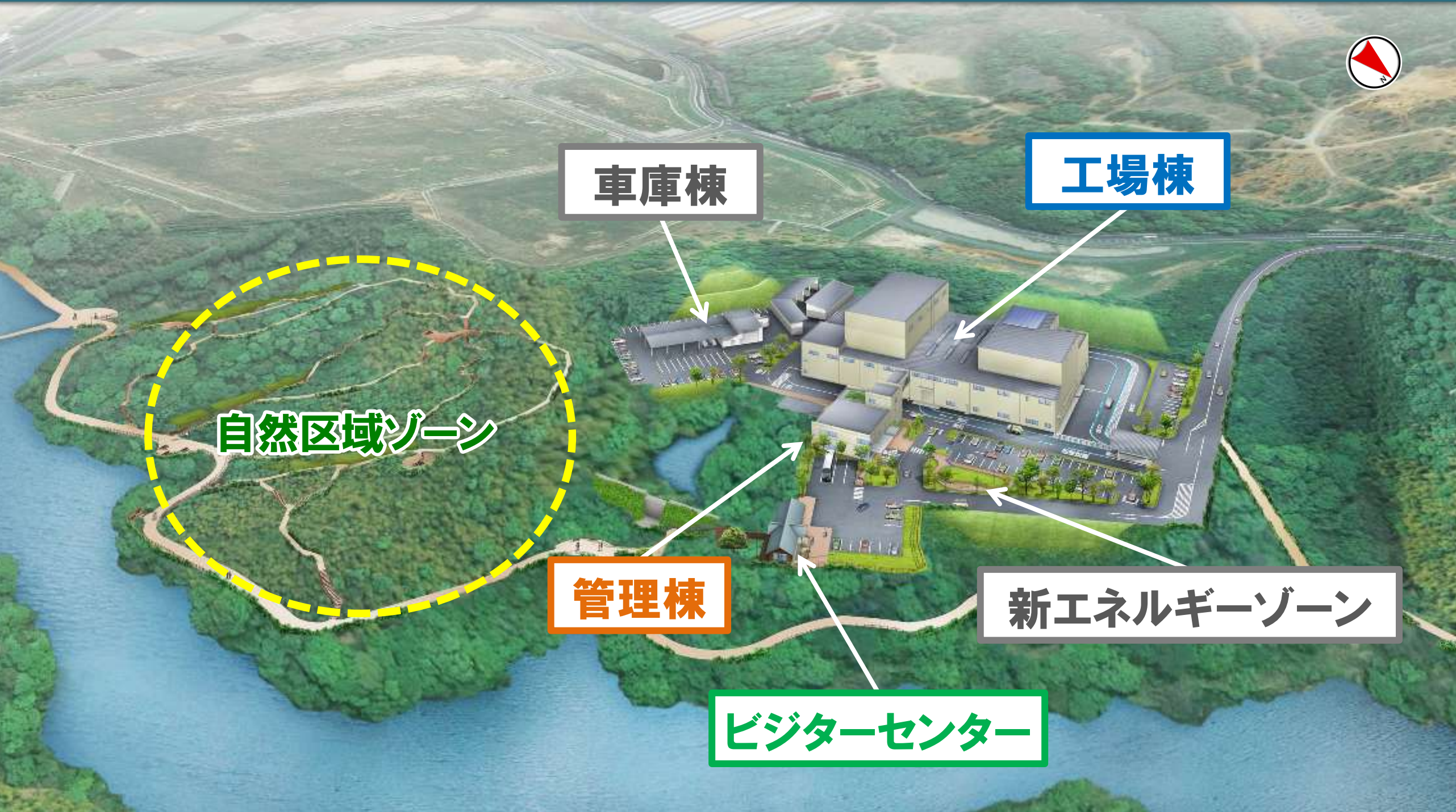
工場棟

自然区域ゾーン

管理棟

新エネルギーゾーン

ビジターセンター



津市リサイクルセンター整備内容

津市リサイクルセンター



工場棟

ごみの資源化
処理

処理
対象物

容器包装プラスチック、ペットボトル、びん、
その他プラスチック、金属、燃やせないごみ、
可燃性粗大ごみ、蛍光管、乾電池、
スプレー缶などの危険ごみ

管理棟

事務所

▶ リサイクルセンターを管理

環境学習センター

▶ 3Rを体験・学習する施設

附帯施設

▶ 車庫棟、新エネルギーゾーン

自然区域 ゾーン

ビジターセンター

▶ 自然体験できる森と公園の拠点施設

津市リサイクルセンターの処理概要

津市リサイクルセンター処理対象物

燃やせないごみ(陶磁器類、ガラス・鏡類、化粧品・消毒用のびんなど)、金属、その他プラスチック

乾電池、蛍光灯、びん、ペットボトル、容器包装プラスチック

新聞、雑誌、ダンボール、飲料用紙パック、布類

燃やせるごみ

西部クリーンセンター

クリーンセンターおおたか

プラスチック類

銅線、ステンレス

破碎選別処理

資源化処理

破碎後の陶磁器類、ガラス、鏡類、化粧品・消毒用のびんなど

最終処分場

再商品化業者

資源化

鉄、アルミ

津市リサイクルセンター建設地の現状



平成26年3月現在

津市リサイクルセンター整備スケジュール

平成25年度

造成工事(土地造成、防災調整池)
建設工事(実施設計、機械)

平成26年度

造成工事(防災調整池、排水施設)
建設工事(ピット、建屋、機械)

平成26年5月1日着工!

平成27年度

建設工事(建屋、機械)
附帯工事(車庫棟、自然区域ゾーンなど)

平成28年4月

供用開始

救急搬送患者の救命率向上に向けて

救急救命士による救急救命 処置範囲を拡大



平成26年4月15日

平成24年度実施 救急救命士の処置範囲拡大に係る実証研究

救急搬送患者の救命率を向上させるため、平成24年度に厚生労働省の研究班が中心となり、心肺機能停止状態の患者に限定されている救急救命士が行う救急救命処置に期間限定で、次の三行為を追加し、その効果などを検証するための実証研究を実施

①血糖測定と低血糖発作症例へのブドウ糖投与

低血糖性の意識障害の可能性がある患者に対して血糖測定を行い、低血糖が確認された場合にブドウ糖溶液を投与

②重症喘息患者に対する吸入 β (ベータ)刺激薬の使用

喘息治療用の吸入薬(吸入 β 刺激薬)を所持している患者が重傷喘息発作を起こした場合に患者本人が所持する吸入薬を使用

③心肺停止前の静脈路確保と輸液の実施

血圧が低下し、心臓が停止する危険性があるショック状態の患者に対する点滴

津市消防本部による実証研究への取り組み

平成24年2月1日

実証研究地域の公募の案内

平成24年4月3日

実証研究地域として応募

県内では津市消防本部のみが応募、選考・決定！

平成24年5月31日

実証研究地域として津市消防本部が選考・決定

平成24年6月15日
～7月9日

薬剤投与認定を受けた救急救命士に対する研修会実施(34人)

平成24年7月1日
～9月30日

津・久居地域メディカルコントロール協議会と共同実施
実証研究(対象症例の検証・調査／非介入期間)

平成24年10月1日
～平成25年1月31日

津・久居地域メディカルコントロール協議会と共同実施
実証研究(処置実施／介入期間)

処置範囲拡大に向けた法律の改正

平成24年の実証研究を踏まえ、救急救命士法が改正(H26.1.31公布)され、

平成26年4月1日 救急救命士法施行規則の一部を改正する省令が施行

新たに2つの救急救命処置が追加

- ▶ 心肺機能停止前の重度傷病者に対する静脈路確保及び輸液
- ▶ 血糖測定並びに低血糖発作症例へのブドウ糖溶液の投与

※重症喘息患者に対する吸入 β 2刺激薬の使用については、実証研究で有効性・安全性の評価ができなかったことから今回の法改正では見送り

(参考) 法改正前の救急救命士法

改正前の救急救命士法で救急救命士に認められた特定行為は次の三行為

1. 静脈路確保
2. 高度な器具を使用しての気道確保
3. 薬剤投与

対象は心肺機能停止状態の傷病者のみ



血糖測定並びに低血糖発作症例へのブドウ糖溶液の投与



心肺機能停止前の重度傷病者に対する静脈路確保及び輸液

法改正後の救急救命士による処置イメージ

交通事故発生

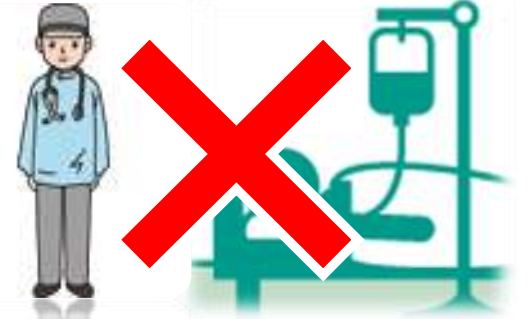


傷病者



心肺機能は保たれているがショック状態

これまでは



特定行為は行えず、止血・固定等を実施し搬送するのみで、ショックが進み生命が大きく危険に！

これからは



！ 静脈路確保と輸液が実施できるため、ショックの進行を遅らせ、救命率の向上に期待！

処置範囲拡大に向けた津市消防本部の取り組み

▶ 救急救命士65人のうち...

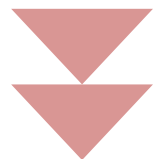
実証研究に参加した救急救命士(34人)



平成26年4月16日(水)・17日(木)、津市消防本部で追加講習(3時限)を実施

三重県メディカルコントロール協議会での認定が得られ次第、
処置範囲の拡大運用を開始(平成26年5月初旬予定)

実証研究に参加しない救急救命士(26人)



今後、三重県メディカルコントロール協議会が行う講習会に参加

三重県メディカルコントロール協議会での認定が得られ次第、
順次、処置範囲の拡大運用を開始



映画「WOOD JOB! (ウツジョブ!) ～神去なあなあ日常～」

WOOD JOB! 神去なあなあ日常記念館オープン
& 津市森林・木材利用促進フェア開催



平成26年4月15日

WOOD JOB! 神去なあなあ日常記念館開館

映画「WOOD JOB! (ウツジョブ!) ～神去なあなあ日常～」の全国公開に先立ち、津市美杉のプロモーションを行うため、道の駅「美杉」(美杉町上多気)に隣接する美杉の家建設株式会社木材加工施設内に

平成26年5月2日から

WOOD JOB! 神去なあなあ日常記念館 を 開館

開館式

平成26年5月2日(金)13時から

丸太カットによる開館セレモニーを実施

❗ 特別ゲストとして矢口史靖監督が出席!

❗ 当日18時からイオンシネマ津で開催の津市特別試写会でも舞台挨拶!

内覧会

平成26年4月28日(月)14時から

5月2日の開館に先立ち、報道関係の皆さんを対象に施設を紹介

津市森林・木材利用促進フェア開催

津市の森林現状

森林や林業・木材の魅力

地域産材の利活用

森林の持つ多様な機能の維持と災害に強いまちづくりを促進するため

WOOD JOB! 神去なあなあ日常記念館 において

津市森林・木材利用促進フェア を開催

開催期間

平成26年5月2日(金)～5月6日(火・休)

平成26年5月10日～8月31日(毎土・日曜日、祝日)

開催時間

10時～16時(開館初日は13時から、最終日は15時まで)

開催会場

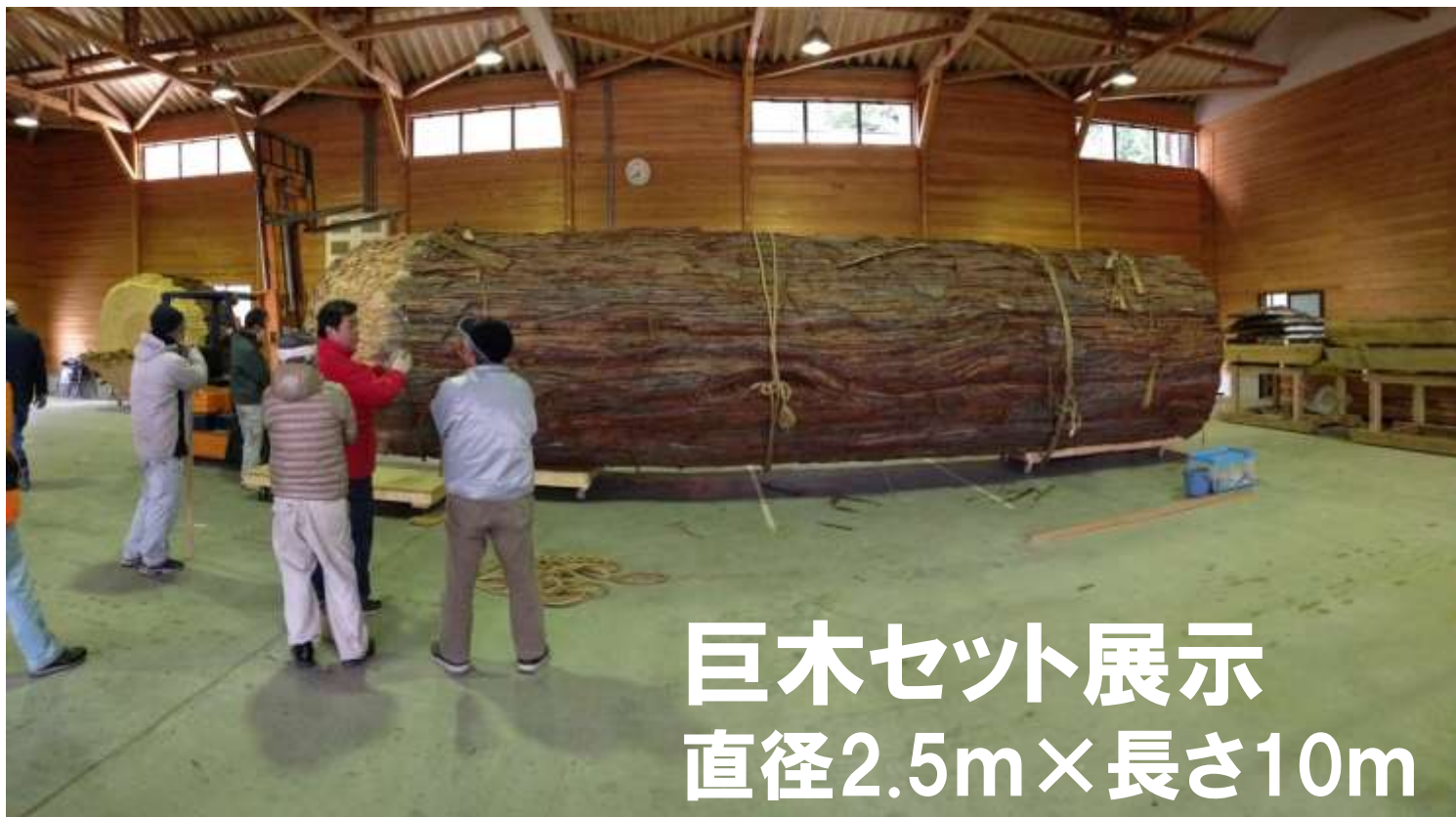
WOOD JOB! 神去なあなあ日常記念館

事業費

370万円(市:179万3千円、県交付金:190万7千円)

みえ森と緑の県民税市町交付金も活用

映画「WOOD JOB!(ウツジョブ!)～神去なあなあ～」関係展示



映画パネル展示 撮影記念グッズ展示



Photo by 映画製作委員会

神去村ジオラマ展示 幅2m×奥行き1.2m (6月上旬から展示)



森林・林業関係の主な展示

展示コーナー

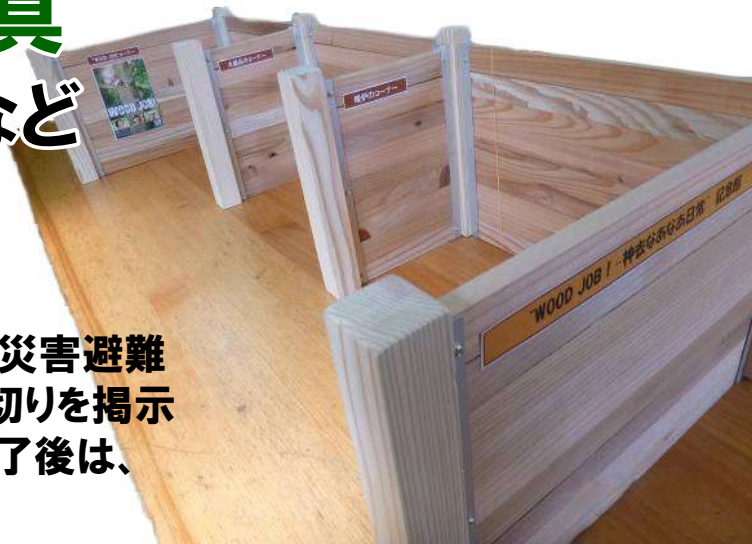
パネル展示

森林の現状、森林施業の今昔など
映像の上映

森林関係の映像など
木材活用製品等

木工製品、ペレットストーブなど
林業機械・道具
林業用道具など

中勢森林組合が開発した災害避難
所用プライバシー保護仕切りを掲示
パネルに使用。イベント終了後は、
避難所用備品として活用



体験コーナー

期間中、毎日
間伐材の丸太
切り体験コーナー
を開設



森と緑の市民塾

8月3日(日)・17日(日)
フェア会場前にて開催

※詳細が決まり次第、
参加者募集